

大洋リアルエステート株式会社

送信者: "大洋リアルエステート株式会社"
宛先: "本間純様"
送信日時: 2011年7月21日 16:38
添付: 添付(1).pdf; 添付(2).pdf
件名: 御堂筋共同ビル開発TMK破産と三菱地所に関する貴誌報道について

2011年7月21日

日経BP社
記者
本間 純 様

前略 貴社ご発行の2011年7月20日付日経不動産マーケット情報8月号を昨日ご送付いただき有難うございました。

先ほど昼前頃貴殿に電話で申し上げたように、頂いた貴誌28ページ～30ページに報道された「三菱地所など2社出資のTMK新築ビルが開業できず破産」のタイトル記事の中で大小20ヶ所以上、事実と異なったり三菱地所を擁護する記事が目立ちます。

私が重要視しているのは、本間様が明確に事実を知っておられながら三菱地所の利益の為に当社を陥れようとされている微妙に悪意があるように感じる部分が多いからです。三菱地所とその100%子会社は貴社の大スポンサーであり、当然貴社が厚意を持って三菱地所の報道をされる事は当社としては異存ありません。

しかし、大スポンサーだからと言って特別の便宜を与えるちょうちん記事は書かないと貴方は断言されました。TMK破産管財人の三原弁護士も、過去何回も公正に誠実に業務を行っている」と強調されています。TMKの見上取締役(唯一の取締役)からも昨年より今年3月にかけて何十通ものEメールを49%優先出資者のチェン社(本社 シンガポール)や当社はいただきましたが、その中で見上氏は何度も法律に反する行為や不正行為は一切行っていないと、いかにも正直に業務を履行しているかのように強調しておられました。しかし、数々の証拠より、見上氏は法に反し三菱地所の利益の為に東銀リースの指示のもと数々の違法行為を三菱地所と行ってきました。破産後一層明確になりました。見上氏より当社らに発信された過去約2年間余の書面はほとんど全て三菱地所が草案したと信じます。失礼ながら見上氏にはこのような書面作成の知識も能力もないと確信しています。

先週の当社ホームページ2011年7月14日付続報⑧での一部発表をご参照下さい。三原管財人は、この続報⑧に対し何のご回答もされていません。

三菱地所との今回のトラブルで一つ明確になったことは、三菱地所は自社に都合の悪いことが発生すると、一切何も回答しない習性があります。多分続報⑧について回答しないよう、三菱地所から三原管財人に指示が出ていると信じます。

本論からそれましたが、私がお伝えしたい事は、口頭や文書でいくら正しく誠実に行動していると貴方や上記の方々強調されても、

私は行動で示して頂かなくては信じません。行動を見ていれば、何を考えておられるのか大体予想はつくものです。

上記の通り、今回の貴方の記事は、当然上司の編集長らともご相談の上発行されたようですから、直ちに真実と違う20ヶ所以上のうち重要部分数ヶ所の訂正記事をお出し下さい。内容は貴方がご存知です。貴誌は不動産業界誌として強大な信用を得ておられると伺っておりますが、担当記者や編集長が承知の上で真実と異なる報道を不動産業界等に発信される事は、読者を愚弄するものです。又当社も名誉信用上大きな迷惑損害が発生します。

訂正記事について、貴方や編集長に現在真実が明確でない処は、明確になった時でよろしい（裁判の結果）。

終わりに、貴社編集長とのご面談の件は今月末より来月初めにお問い合わせ致したく、後日詳細をご連絡致します。

最近の貴方との通信分添付(1)(2)を確認の為付け加えます。

草々

大洋リアルエステート株式会社
代表取締役社長
堀内 正雄